

「 建 学 」 の 精 神



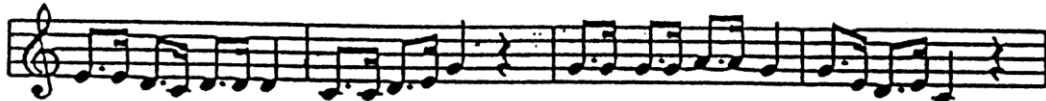
この扁額は、1798年に国学を創建した時、琉球国王尚温が揮毫したものであり、本校の前身である県立第一中の表玄関に掲げられていたが、今次大戦で焼失し、1959年に復元した。「海邦」とは「海にかこまれた邦」のことで、「養秀」とは、「すぐれた人材を教育する」という意味である。「海邦養秀」とは、県立第一中・県立首里高等学校の伝統を貫く精神である。

沖縄県立首里高等学校校歌

作詞 山口泰平ほか
国漢科職員
曲 糠塚卯助
宮田啓重



あおげばたかし べんがだけ ちとせのみどり こきところ



ながめはひろし なはのうみ ばんこのなみの よるところ



これいっせーんの がくとらが きーおいたつべきせいてんち



- 一、 仰げば高し弁ヶ岳
千歳の緑濃きところ
眺めは広し那覇の海
万古の波の寄るところ
これ一千の学徒らが
競い立つべき聖天地
- 二、 それ海南の一孤島
世は濁浪の寄せくとも
自彊じきやうの巖いわとことわに
進取の船に棹さして
たゆまず進め我が友よ
理想の岸は遠からじ
- 三、 ああ果てしなき海原も
雲にそびゆる高嶺も
渡るに何かかたからん
越ゆるに何かかたからん
われに不断の努力あり
われに一如いちによの至誠まことあり
- 四、 古城のほとり咲き匂う
文化の華を偲ぶれば
我等がつとめ軽からず
いで中山の若人よ
奮いはげまん諸共に